

平成30年度一般社団法人全国避難設備工業会第1回理事会議事録

1. 日時 平成30年5月8日(火) 13時30分～14時48分
2. 場所 東京都港区西新橋一丁目6番15号 NS 虎ノ門ビル AP 新橋虎ノ門
3. 役員現在数 13名(うち監事2名)
4. 出席者 11名
菊池信会長、小池秀太副会長、齊田啓子副会長、生貝英樹常務理事、平野清治理事
重盛弘子理事、吉池達郎理事、前田善衛理事、上田勝也理事、佐藤康雄理事
笹嶋敏之監事
オブザーバー出席 喜田大輔氏(富士産業株式会社専務取締役)
欠席 喜田安紀理事、富岡陽監事
5. 議事の経過
 - (1) 開会
13時30分 開会宣言
 - (2) 菊池工業会会長より挨拶
事務局近況、避難器具用ハッチの受検数量の実数報告、公益目的支出計画の内容変更報告、および本日開催の理事会の趣旨について
 - (3) 理事の出席状況報告
出席者数が定款第34条の定足数を満たし理事会が成立していること、喜田理事、富岡監事の欠席および喜田大輔氏がオブザーバーとして出席していることの報告
 - (4) 定款第33条により、菊池会長が議長となり、議事に入った。
6. 議案の内容及び議決結果
 - 第1号議案 平成29年度の事業報告と収支計算書等(案)について
議長の指名により、事務局から資料1を用いて、平成29年度の事業報告と収支計算書等(案)に案の要点について説明があった。収入の増加分についてハッチ個別認定、認証及び研究助成金であること、支出として研究助成金の支出と普及宣伝費の増大、認定費と印刷製本費、委員会開催の減少により合計で予算を上回っていることの説明があった。次に、議長が監査報告を求め、財務関係資料に基づき監査した結果、適正に処理されている旨の報告が笹嶋監事よりなされた。特別に質問はなく、議長が第1号議案の平成27年度事業報告及び収支計算書案の承認について諮り、全員異議なく可決承認された。
 - 第2号議案 平成29年度公益目的支出計画実施報告書案について
議長の指名により、事務局から資料2を用いて、平成28年度公益目的支出計画実施報告書案についての説明があった。公益目的支出計画が本年度で終了することの報告がなされ、特別に質問はなく、議長が第2号議案の平成29年度公益目的支出計画実施報告書案の承認の件について諮り、全員異議なく可決承認された。
 - 第3号議案 避難器具用ハッチ警告ラベル価格改定について
議長の指名により、事務局から資料3を用いて、避難器具用ハッチ警告ラベル価格改定についての説明があった。会員価格30円、非会員価格50円とすることのほか、特別に質問はなく、議長が第3号議案の避難器具用ハッチ警告ラベル価格改定について諮り、全員異議なく可決承認された。
 - 第4号議案 ノベルティの作成案について
議長の指名により、事務局から資料4を用いて、ノベルティの作成案について、事務局から資料4を用いた説明があった。1000枚程度のクリアファイルを作成し、デザインは事務局に一任することのほか、特別に質問はなく、議長が第3号議案の工業会人事について諮り、全員異議なく可決承認された。
- その他 報告事項
 - ① 消防庁長官表彰者推薦についての報告があり、ナカ工業株式会社・城戸憲昌氏、齋田産業株式会社・安川満氏の2名を推薦する予定であることの報告があった。
 - ② 総会・懇親会進行についての報告があった。
 - ③ 三新工業株式会社黒澤社長が逝去された模様であること、有限会社アトラクトが廃業した模様である

ることの報告があった。

- ④ 緩降機を使用した降下訓練時の負傷事故を踏まえた消防庁の事務連絡とそれに伴う工業会の対応についての報告があった。
- ⑤ 一般財団法人日本消防設備安全センターの研究助成を受けての点検用器具の開発状況についての報告があった。
- ⑥ 本年度の理事会日程についての報告があった。
- ⑦ 事務所移転計画の状況についての報告があった。
- ⑧ 防火防災協会で作成した避難器具取り扱いDVDについての報告があった。

以上をもって、理事会の審議を終了したことから、14時42分議長がすべての報告事項が終了した旨述べ、閉会を宣し、散会とした。

以上の決議を明確にするため代表理事及び監事において次の署名捺印をする。

平成30年5月8日
一般社団法人全国避難設備工業会
平成30年度第1回理事会に於いて

代表理事(会長)	<u>菊池 信</u>	⑩
監事	<u>笹嶋 敏之</u>	⑩